

いのうただたかきねんかん 伊能忠敬記念館だより No. 6

お知らせ

伊能忠敬は、江戸時代に実際に日本を測って正確な地図を作った人ということは、皆さんも知っていると思いますが、記念館が所蔵している関係資料2,345点は、6月29日に重要文化財から国宝になりました。千葉県内では実に57年ぶり、4件目の国宝指定です。

記念館では、これを記念して特別展『伊能忠敬関係資料—国宝への歩み—』展を7月6日（火）から来年4月3日（日）まで4回に分

けて開催します。忠敬が作った地図

や絵図、さまざまな記録、手紙や

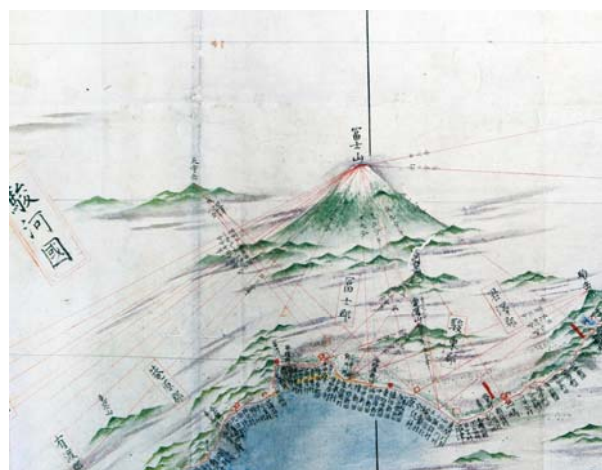
測量器具など数多く展示をする予

定です。お楽しみ下さい。（国宝と

は、重要文化財のなかで、世界の文

化から見ても特に価値の高いもの

で、国民の宝と言えるものです）



伊能図（富士山付近）

（香取市内の小・中・高校生はいつでも無料で入館できます!!）

『クイズ忠敬』に挑戦しよう

- (1) 忠敬の資料は何になりましたか？
①国宝 ②県宝 ③市宝
- (2) 国宝になった資料の点数は何点ですか？
①1,234点 ②2,345点 ③3,456点
- (3) 第1次測量は今から何年前ですか？
①200年 ②210年 ③220年
- (4) 第1次測量隊の人数は何人ですか？
①4人 ②5人 ③6人
- (5) 第1次測量は何日かかりましたか？
①100日 ②150日 ③180日



西別の碑

伊能忠敬物語(6)

忠敬が55歳のとき、日本全国測量の第一歩、第1次測量がはじまりました。江戸を1800年6月11日に出発。忠敬を含めて6人での測量行でした。まず、富岡八幡宮に参拝し旅の安全を祈り、その後一步一步測量しながら、東北地方を北へ北へと進みました。津軽海峡を渡り、北海道に入ります。函館山に登り測量もしています。その後南側海岸線に沿って測量しました。そして西別（現在の別海町、8月7日）まで行きました。ほんとうはもっと北への測量を望んでいましたが、冬が迫っていたことなどから、同じ道を通って12月7日に帰ってきました。江戸を出てから180日約3,200kmにおよぶ測量でした。



第1次測量経路図

伊能忠敬記念館だより No.6 発行日 平成22年7月31日

発行者 伊能忠敬記念館

〒287-0003 香取市佐原イ1722-1 電話 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649

クイズの答え (1)－① (2)－②、(3)－②、(4)－③、(5)－③